

筆遣い 児童にアドバイス 浜松市と静岡文化芸術大 書き初め教室

中区



筆遣いをアドバイスする学生(右)

|| 浜松市中区の西部協働センター

浜松市と静岡文化芸術大は23日、小学生を対象にした書き初め教室を中区の西部協働センターで開いた。同大書道サークルの学生7人が児童約20人の冬休みの課題などを手ほどきした。

市内6大学の学生が、各協働センターの生涯学習講座の講師を務める「大学連携事業」の一環。児童は学年別に分かれ、真剣な表情で「夢と希望」「美しい光」といった課題文をしたためた。「受験合格」「自信を持つこと」などと新年の目標も半紙に力強く表現し、発表した。

学生は児童が1枚書き終えるごとに「とめ・はね・はらい」など筆遣いを丁寧にアドバイスした。静岡大付属浜松小5年の奥井理央君(10)は「いつもより上手に書けたと思う」と喜んだ。